

平成20年度 第6回 府中市男女共同参画推進懇談会 議事録

1 日 時 平成21年3月9日(月) 午後7時～8時45分

2 場 所 女性センター 第1会議室

3 出 席

(1) 委 員

小西(厚)委員長、諸橋副委員長、北川委員、後藤委員、島野委員、平井委員、
村野委員、矢島委員、吉田委員

(2) 事務局

星市民生活部長、川田市民活動支援課男女共同参画推進担当主幹、松井男女共同
参画推進係長、大沢事務職員

4 欠 席

五座委員、小西(さ)委員、日高委員

5 傍聴者

なし

6 会議内容

(1) 開会

第4期府中市男女共同参画推進懇談会の最後の会議であるため、星市民生活部長
からあいさつがあった。

(2) 前回の議事録の確認

承認

(3) 報告事項

横須賀市人権・男女共同参画課から、「新たな取組を必要とする防災分野における
男女共同参画の推進について 報告書」の内容についての講演の依頼があった。
去る3月4日(水)に、横須賀市において小西会長が、「災害時に起こる女性問題
から考える防災対策」と題する講演を行った。

(4) 協議事項

ア 府中市男女共同参画計画の推進について

(ア) 府中市男女共同参画推進懇談会のあり方について

① 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書(案)について

第5回会議において検討した府中市男女共同参画推進状況評価報告書(案)
について、各委員の意見を踏まえ、正副会長が最終案を調整した。小西会長
から調整内容について、次頁のとおり説明があった。また、調整内容につい
て承認され、最終案が決定した。

なお、文言の修正等、細部については説明を割愛した。

事業項目	第5回会議における協議内容	第6回会議において決定した内容								
032	保育所の待機児童解消には、小学校の空き教室を活用すると良い。	この意見に対し、小学校の空き教室を保育所に活用することは、保育所の環境になじまないと考え、削除することとした。なお、この意見は、表現を改め、事業項目036に提言として記載した。 (資料1 23頁を参照)								
085-②	項目評価基準の評価及び総合評価を保留とした。	項目評価基準の評価 <table border="1"> <tr> <td>(a)</td> <td>(b)</td> <td>(c)</td> <td>(d)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table> 総合評価 B (資料1 52頁を参照)	(a)	(b)	(c)	(d)	3	3	2	3
(a)	(b)	(c)	(d)							
3	3	2	3							
085-⑤	項目評価基準の評価及び総合評価を保留とした。	項目評価基準の評価 <table border="1"> <tr> <td>(a)</td> <td>(b)</td> <td>(c)</td> <td>(d)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </table> 総合評価 C 改善策等の提言 メンタルフレンド及びスクールカウンセラーについて担当課に質問し、資料3のとおり回答があった。これを参考に改善策の提言を訂正した。 (資料1 58頁を参照)	(a)	(b)	(c)	(d)	3	3	3	2
(a)	(b)	(c)	(d)							
3	3	3	2							
095	項目評価基準の評価(d)を「1」とした。	数値目標が不十分であると考え「1」としたが、数値目標になじまないとしても、啓発活動は行っているため、項目評価基準の評価(d)を「2」とした。 また、担当課は数値目標の設定になじまないとしているが、改善策等の提言において、数値目標の設定方法についても提言した。 (資料1 64頁を参照)								

イ 府中市女性センター事業計画及び運営のあり方について

(7) 「府中市男女共同参画市民企画講座について(案)」について

第5回会議において報告のあった正副会長案について、各委員が持ち帰り検討することとしていた。

正副会長案に対する質問

選考方法について、正副会長案によると応募市民団体所属委員がいる場合は、自らが所属する団体の採点・選考はできないとし、他の応募団体に関しては採否選考に参加するとしているが、この場合、合計点数に差が出てしまうのではないか。

協議内容

現状では応募市民団体所属委員が多数いる場合、残りの少ない委員で採否選考することとなる。しかし、より多くの委員の意見によって適切な採点選考を行うことが望ましい。

点数に差が出てしまうことについては、合計点数の平均を用いて選考する等の対策を採ることを考える。

以上の協議から、資料2の案が承認された。

ウ その他男女共同参画のまちづくりに必要な事柄について

男女共同参画のまちづくりに必要な事柄について、また、第4期府中市男女共同参画推進懇談会委員を務めての感想等を各委員から述べた。

- ・ 推進懇談会の場で協議・提言した内容が、どのように反映されているのかが明確になれば取り組みやすいと思う。
- ・ （委員が所属する組織において）懇談会での取り組み内容を発表する場は特になかったが、事業等を行うときに、一意見としてではあるが、男女の役割等が偏らないように発言した。
- ・ 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書において、第三者評価をするにあたり、自身が関わっていることに関しては評価しやすいが、そうでないものに関しては難しいと感じた。
- ・ （委員が所属する組織において）会合等で男女共同参画について話したが、男性が多い組織であり、なかなか実績が作れていないのが現状である。
- ・ 「新たな取組を必要とする防災分野における男女共同参画について」報告したが、市の防災訓練等の際には報告書の内容を反映させて実施してほしい。また、これを広報等でアピールしてほしい。
- ・ 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書の第三者評価について、推進懇談会の意見がよく反映できたと思う。担当課には、次年度以降もこの提言を活かして取り組んでほしい。
- ・ 男女共同参画の推進についてはワーク・ライフ・バランスの実現が必要であると思う。経済状況が厳しいときだからこそ、ワーク・ライフ・バランスの視点を加え、より一層男女共同参画を推進してほしい。
- ・ 市の施策として、細かに、具体的に目配りして、推進懇談会の意見を聞いてくれていることは驚きだった。府中市男女共同参画推進状況評価報告書において、担当課の評価を評価することによって、市の施策が色々わかった。
- ・ 市の段階で改善できることではないが、男女差別等について、社会に根付い

ている考え方を是正することはとても難しいと思う。また、男女差別等の根本は経済力に関係すると思う。専業主婦等の家内労働が経済的にカウントされるシステムが必要だと思う。

- ・ 推進懇談会の委員に応募したときは、男女共同参画について、意見を自由に協議できる場であると考えていた。しかし、市長から諮問事項を受け、防災について協議することとなり、協議したいことを考えていたが、協議できず残念であった。また、男女共同参画の推進について、女性が一人の人間として、自立することが大切だと考える。
- ・ 男女共同参画において、防災分野はなかなか踏み込めない分野であり、災害時には男女の性別役割が出てきてしまうところだと思う。しかし、「新たな取組を必要とする防災分野における男女共同参画について」の報告において女性の視点を取り入れることができたのは素晴らしいことであると思う。市の防災会議において、どこまで反映されるか見ていきたい。
- ・ 女性センターの運営のあり方について、女性センターが開館したときと比べ、成熟期にきていると思う。10年・20年先のことを考えなくてはならないときである。当時活躍していた登録団体の活動が停滞してきており、今後、登録団体とどのように関わるかが難しい問題である。
- ・ 推進懇談会の会議の場において、アドバイザーを呼ぶことを検討することも良いと思う。
- ・ 推進懇談会で協議した内容を女性センター登録団体連絡会において報告する等、会議を行うだけではなく、情報を発信することも必要であると思う。また、登録団体連絡会総会等において、登録団体の意見を集めることも重要である。
- ・ 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書の第三者評価について、男女共同参画の視点をさらに取り入れて評価することが大切である。
- ・ 先に意見のあったとおり、女性センターは、第2期に入っている。例えば、男女共同参画条例を作る等の仕掛けを作ることで、もう一度盛り上げる等が必要である。
- ・ 他の自治体において、男女共同参画条例の認知度が低い場合がある。しかし、いざというときに必要なもので、例えば、憲法があることによって、戦争を行おうとするときにできないというように、男女共同参画条例があることによって、男女共同参画を推進できるというものであると思う。ぜひ、条例策定に取り組んでいただきたい。

エ その他

第6回会議欠席委員に対し、資料を送付し、提言等があれば事務局に意見を提出することとした。

協議内容について、正副会長が調整し報告書を作成し、市長に報告することとした。

7 閉会